

2024 年度
事業報告



特定非営利活動法人

東京多摩いのちの電話

目 次

ごあいさつ	1
2024年度事業報告	2
2024年度決算報告	7
2025年度事業計画・ビジョン	8
2025年度予算	9
役員・顧問・組織図	10
ご寄付感謝報告	11

ごあいさつ

日頃より「東京多摩いのちの電話」の活動に、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。
2024年の自殺者数は20,320人で、前年度に引き続き高い水準にあります。特に、若年層と女性は増加傾向にあります。小・中高生は過去最高となっています。私たちの電話による傾聴と対話の活動が、孤独の中にある方、生きづらさを抱えている方に、少しでもお役に立つことを願ってやみません。

2024年度の事業報告を作成いたしました。昨年度も「東京多摩いのちの電話」は、かけ手の「よき隣人」としての活動を続けることができました。かけ手と聴き手は、ともに今を生きる人としてつながります。この対話は、「相手を深く理解し役に立ちたい」という純粋な思いに基づいて行われています。私たち「いのちの電話」は、無償のボランティアによる、報酬を求めない、隣人同士の心の響き合いを生み出していることに誇りを持っています。ささやかではありますが、人と人のつながり方にも影響を与え続けていると信じています。

相談員の減少が続いていますが、できるだけ電話がつながりやすく、コーラーの皆さまに「かけてよかった」と思ってもらえるよう、組織・運営のしくみを整えてまいります。2025年度は、開局40周年の年であり、『中期ビジョン<2024～2026>』を掲げての2年目であります。“持続可能な組織運営”と“組織運営の構造改革”を掲げて、新たな1歩を進めてまいります。

改めて、皆さまの幅広いご支援とお働きに心から感謝申し上げます。2025年度も、東京多摩いのちの電話を担う私たち全員が相互に信頼し、最善を尽くし、ともに進むことをお誓い申し上げます。

特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話
理事長 鶴 清忠

東京多摩いのちの電話 法人概況 (2025年7月現在)

設 立	1985年6月1日
組 織	理事17名 監事2名 顧問 30名
相談員数	登録者 131名 実働者 110名
活動内容	電話相談・フリーダイヤル相談
受信件数	10,955件(2024年1月～2024年12月)
運 営 費	年間約1,357万円
機 関 紙	広報紙「東京多摩いのちの電話」

2024年度 事業報告

I. 電話相談事業

A. 電話相談の現状(2024年1月～12月)

《電話受付体制》

1. 電話相談受信時間帯 毎日(年中無休)10:00～21:00
毎月第3金曜日 10:00～日曜日 21:00 まで連続受信
2. 自殺予防いのちの電話 毎月10日 8:00～11日 8:00
毎日 16:00～21:00

《受信状況》

受信件数 10,955 件(男性 5,576 女性 5,305 その他 74)

(受信件数には、無言電話や通話中のためつながらなかった電話は含まない)

*内訳 ①通常電話 8,685 件(男性 4,537 女性 4,083 その他 65)

うち自殺傾向 823 件 9.5%(男性 453 女性 368 その他 2)
(24時間深夜早朝帯を含む)

②24時間電話(毎月第3金曜日 21:00～日曜日 21:00)の内訳

2024年1月～12月 388 件(男性 237 女性 143 その他 8)

うち自殺傾向 83 件(21.4%)

③自殺予防フリーダイヤル

2,270 件(男性 1,039 女性 1,222 その他 9)

うち自殺傾向 532 件 23.4%(男性 258 女性 271 その他 3)

B. 弁護士による電話法律相談(2024/4～2024/12)

毎月第3火曜日 16:00～18:00

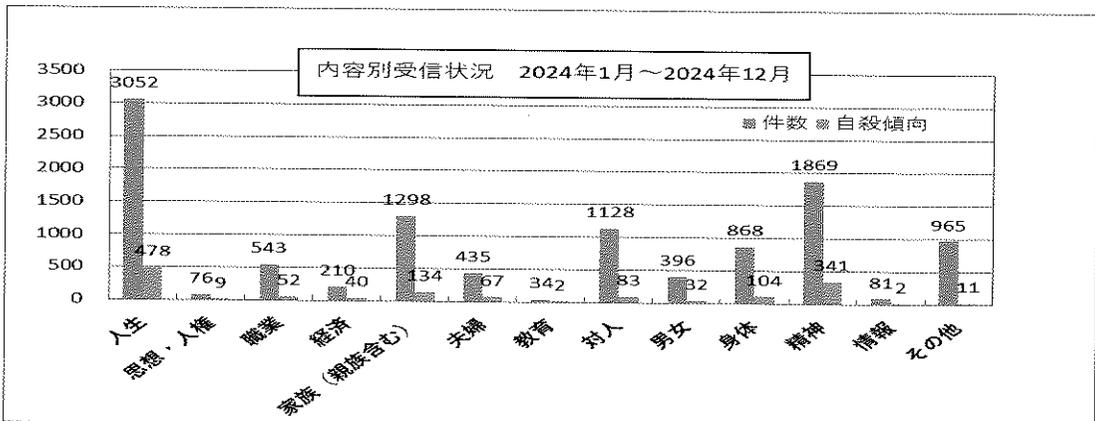
相談件数 15 件(男5 女10)

受信時間 9時間05分(1件当たり36分)

*内容は離婚・相続・社会保障など多岐にわたり、それらが絡み合っている。

*弁護士による法律相談は、2024年12月をもって終了した。

【相談内容】

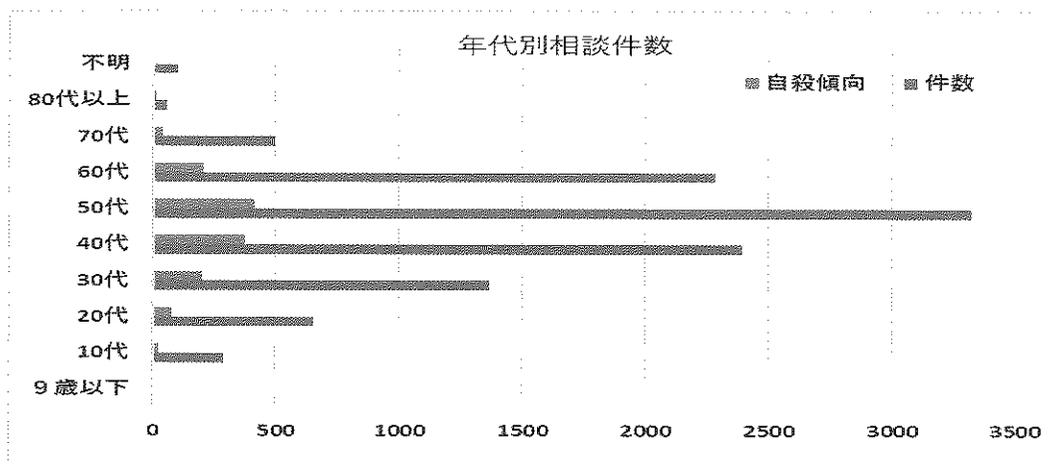


*生き方や孤独などを話す「人生」の相談(相談件数の27.9%)と、こころの病に関する不安や苦しみを訴える「精神」の相談(相談件数の17.0%)が多い。

【年代別相談件数】

単位：件

年代	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
件数	1	284	653	1,366	2,391	3,322	2,284	494	57	103	10,955
自殺傾向	0	25	81	197	372	414	207	41	12	6	1,355



II. 自殺予防のための普及・啓発事業

A. 広報

・広報紙グループ

広報紙の発行:120号(4月)121号(8月)122号(12月) 発行部数各4000部

・ホームページグループ

2024年3月リニューアルしたホームページの更新作業

・事業報告冊子

1500部作成

B. 自殺予防いのちの電話公開講座

・2025年2月11日 講師 丸山貴史氏(「ざんねんないきもの」著者)

・「ざんねんないきもの残念じゃない進化」 参加者数 170名

C. 支援ボランティアの養成

第13回支援ボランティア講座を、2024/9/28(土)に開催

目的:東京多摩いのちの電話を支える相談員以外のボランティアの募集・登録

実施形態:2024年度は本法人と支援ボランティアの会の共催

受講者数:7名(2024年度未登録者 25名)

III. 電話相談員の養成事業

A. 相談員養成研修(39期生)

・講義(2024/4~2025/1 12回)

・対人関係基礎訓練(2024/4~2024/7 25時間)

・ロールプレイⅠ(2024/7~2024/9 15時間)

・前期研修振り返り(2024年9月)

・前期スーパービジョン(2024/9~2024/10)

・ロールプレイⅡ(2024/11~2024/12 12時間)

・インターンシップスーパービジョン(2024/11~2025/2)

B. 相談員研修

・継続グループ研修(2024/4~2025/3)

・スーパービジョン(2024/8~2024/12)

・ワークショップ 第1回(2024/9)「どうでもいいと思ってしまう話をどう受けるか」

第2回(2025/3)「コーラーを理解するために」

・15期アドバンス研修(2024/11~2026/7)「自主研修」「基礎講義」「ロールプレイ演習」ほか

・シニアワーカー課題別研修「対人関係基礎訓練コース」(2024/8)、「ロールプレイコース」(2025/2)、
「スーパーバイザー養成コース」(2025/4)

IV. 社会教育推進事業

公開講演会 実施せず

V. 他の団体とのネットワーク構築事業

A. 自治体自殺対策所管担当者への訪問と情報交換

多摩地区の自治体との継続した関係づくりに向けて、必要に応じて情報交換や課題の共有を行った。

B. 市町村長の顧問就任

三多摩の自治体首長に働きかけを継続し、2025年3月31日現在27首長が顧問になっている。

C. 連携協定の締結

立川市と自殺防止や心の健康づくり等、必要に応じた自治体との連携を図るため、事業連携協定を締結し、現在も継続中

D. 行政の自殺対策協議機関等への参画

あきる野市自殺対策協議会(2024/5/29、2024/9/5、2024/10/24)

狛江市健康づくり推進協議会(2024/5/22、2024/8/22、2024/10/21、2025/1/27)

八王子市自殺対策協議会(2024/7/30、2024/2/5)

町田市自殺対策推進協議会(2024/5/27、2024/11/11)

南多摩地域保健医療協議会 健康づくり部会 (2025/2/27)

E. 自治体主催のゲートキーパー研修・講演会の講師派遣

狛江市(2024/9/17、2025/2/12)

東大和市(2025/3/11、2025/3/27)

福生市(2025/3/7)

F. 「JR 東日本いのちのホットライン」参加 (2025/3/15、16)

VI. その他目的を達成するために必要な事業

実施せず

理事会・委員会活動報告

I. 理事会

・開催日(2024/7/3、9/24、11/26、2025/1/28、3/11、4/21、5/7 書面開催)

・主な決定・検討事項

定年制廃止の決定(9月)

電話法律相談終了(2024年12月)の決定(9月)

後援会組織構想枠組みの検討(9月~4月)

40周年に係る事業方針の決定(4月)

- ・理事会が設置したチーム
- 研修検討チーム(継続)
- 定年制検討チーム(継続)
- 公開講座・公開講演会チーム(継続)
- 相談員募集・啓発チーム(新規)
- 認定NPO 法人の申請時期を 2027 年度に変更し作業を継続

II. 常設委員会

A. 相談員委員会

集合対面方式:4月 5月 6月 10月 11月 1月 3月

メール会議:8月 9月 2月

・取り組み内容

1. 作業部会の設置

①全体会を考える会:開催頻度と内容を検討し、24年度はどうか問うたところ半数は隔年でもよいとの意見あるも今年度は実施することとなった。

②相談員定着のための方法を考える会:休務者含む全相談員にアンケート調査を行った。

2. 相談委員会推薦理事の決定

前回の方法を参考に各継続 G から推薦を出しあい、相談員委員会で承認してスムーズに決定した。

3. メール会議の導入

相談員委員選出と委員会参加が困難との意見を受けて、負担軽減を目的に連絡事項の確認が主となる場合はメール会議開催にて周知した。

4. 全体会の実施

1月25日(土)午後50余名参加にて実施

グループでの話し合いは2部制にし、1部は全体シャッフル、2部は期が近い方たちの同期会的メンバーで存分に話せたことで元気をもらったと声があった。

5. その他

・24時間電話対応時の一人体制は可能かについて、マニュアル作成にて試験導入中

・シフト調整については人数の少ない G が応援態勢に入る輪番から外れることを今後も継続することを確認

B. 広報委員会

・広報紙グループ(2024/4/7、6/23、7/7、8/17、11/10、12/22、2025/3/9)

広報紙の発行:120号(4月)121号(8月)122号(12月)発行部数各4000部

多摩40周年事業:中高生向け冊子(2025年8月)企画検討

・ホームページグループ(2024/6/15、7/28、10/11)

C. 財務委員会

・開催日(2024/4/26、6/7、8/22、10/16、2025/1/14、3/3、4/23)

寄付・募金目標の設定、24年度予算案の確認、役割分担の検討

天下市へ参加決定/出店、助成金申請(草の根基金・ぐらん、真如苑、赤い羽根)

後援会についての意見交換

2024年度決算、2025年度予算の検討、理事会への提案

D. 認定委員会

・開催日(2024/4/15、6/8、8/10、11/30、2025/1/11、3/8)

・「相談員の手引き」の加筆修正、定年制の廃止こともなう事項についての検討、活動状況の把握

・継続グループ活動の重要性の再認識の文言を誓約書に加筆した。

E. 研修委員会

- ・開催日(2024/4/13、5/15、6/18、7/16、8/15、9/17、10/27、11/19、12/17、2025/1/22、2/25、3/18)
- ・研修スタッフによって、次の研修を実施した。
相談員養成研修(39期生)、相談員研修(スーパービジョン ワークショップ リフレッシュ研修)、15期アドバンス研修、シニアワーカー課題別研修

III. 特別委員会・検討チーム

A. シニアワーカーの会

- 2024/6/9 対人関係基礎訓練再体験
- 2024/7/27 シニアワーカー危機介入研修
- 2024/10/19 ロールプレイ研修
- 2024/10/27 2024年度 定例会
- 2024/11/24、12/4、2025/1/16、2/15 相談員交流会
- 2025/3/30 2024年度 総会
- *ゲートキーパー研修講師派遣 2025/3/7 福生市、2025/3/27 東大和市
- *ホームページ更新、運営への協力
- *毎月24時間シフト調整

B. 研修見直しチーム

- ・ミーティング (4/3、5/24、6/28、7/13、9/18、11/18、1/21、2/24、3/19)
- ・40期養成研修、相談員継続研修、15期アドバンス研修、リフレッシュ研修の内容について見直し、検討をした。

C. 定年制検討チーム

- ・ミーティング(2024/4/18、6/11)意見交換会(7/17)
- ・内容 2023年度から検討を継続した。年齢による退務を固定化せず自己決定を尊重することが妥当との方向で2023年3月に報告をしたが、それについての意見に対するQA方式での報告、アンケートの実施、意見交換会の開催を通じて更に意見や課題の共有化をめざした。第2回理事会に定年制廃止を提案した。

D. 支援ボランティア推進委員会

- ・外部団体である支援ボランティアの自律的な活動と発展を援助し、法人との調整の役割を担った。その他、支援ボランティアの会定例会への陪席、イベントへの参加、支援ボランティアの会役員との調整会議への出席・支援ボランティアと共に活動したため委員会の開催はなし。
- ・第1回理事会で、理事の役割に「支援ボランティアの推進」を新たに加え、理事1名を含む5名で活動した。支援ボランティア講座の開催(東京多摩いのちの電話支援ボランティアの会との共催)
2024年9月28日(土)

E. 相談員募集・啓発チーム

- ・活動日 (2024/10/17、11/8、12/2、2025/1/25、2/3、3/7)
- ・内容 40期生相談員募集に際し、市町村・公的団体・新聞への広報活動及び説明会開催を実施

F. 事務局

- ・事務局会 (4/5、5/1、6/5、7/4、8/1、9/5、10/9、11/6、12/5、1/10、2/6、3/6)
- ・各委員会、事務局業務確認

2024年度決算報告

2025年3月31日現在

【収入の部】

【支出の部】

単位:円

勘定科目	予算	決算	勘定科目	予算	決算
会費	1,050,000	1,064,000	事業費	11,487,000	9,971,380
寄付金	7,700,000	10,330,085	管理費	4,039,000	4,307,865
助成金	1,500,000	1,427,841	予備費	0	0
事業収入	650,000	688,500			
雑収入	4,626,000	64,514			
収入小計	15,526,000	13,574,940	支出小計	15,526,000	14,279,245
前期繰越		34,491,781	当期繰越		-704,305
			次期繰越		33,787,476

貸借対照表

特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話

2025年3月31日 現在

全事業所

(単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金		前受金	1,139,000
多摩信金 039-0259691	1,361,867	流動負債計	1,139,000
三菱UFJ 675-1047392	4,902,549	負債合計	1,139,000
ゆうちょ銀行	4,795,574	正 味 財 産 の 部	
郵便振替 00100-7-168-778	2,519,989	【正味財産】	
現金・預金 合計	13,579,979	前期繰越正味財産額	34,491,781
流動資産合計	13,579,979	当期正味財産増減額	△ 704,305
【固定資産】		正味財産計	33,787,476
(有形固定資産)		正味財産合計	33,787,476
建物附属設備	1,270,086		
什器 備品	1,904,908		
有形固定資産計	3,174,994		
(無形固定資産)			
電話加入権	400,464		
ソフトウェア	898,231		
無形固定資産計	1,298,695		
(投資その他の資産)			
電話相談員養成引当特定預金	872,808		
多摩信金 定期預金 3808661-01	15,000,000		
多摩信金 定期預金 3808661-00	1,000,000		
投資その他の資産計	16,872,808		
固定資産合計	21,346,497		
資産合計	34,926,476	負債及び正味財産合計	34,926,476

2025年度 事業計画・ビジョン

『中期ビジョン<2024~2026>』

2025年は、開局40周年の年であり、中期ビジョンの2年目になります。『日本のいのちの電話連盟』に加盟する、全国50拠点のいのちの電話と連帯して、この運動の社会的使命を果たすことを基本とし、以下の事業計画を策定します。この[ビジョン/計画]は、いのちの電話運動の担い手(電話相談員・支援者)の長期的な減少傾向を見据えて、持続可能な組織運営を目指すものとします。

■持続可能な組織運営の達成

～電話相談員の減少・高齢化を見据え、多世代に支えられる組織運営を目指す～

- ① 多世代への効果的・広域的な広報活動により、電話相談員と支援者の獲得に努める。
・従来の広報活動に加えて、SNS やインターネットを活用し、若い世代への浸透を図る。
・顧問に就任している首長の市町村への働きかけを強め、支援を得る。
- ② 事務局業務の効率化と事務局員の負担を軽減し、組織のスリム化を計る。
・業務内容の見直しを検討するとともに、事務局開設時間の短縮を検討する。
- ③ この運動のコアの担い手である「相談員」の募集と研修を充実させる取り組みを継続・強化する。
・広く専門職の獲得を働きかけるとともに、シニアワーカーの参画の機会を増やす。

■組織運営の改善

～電話相談員と共に組織運営に参画できる会員を増やし、広く社会の信頼と期待に応える～

- ① 多方面の有識者の参画により組織された理事会の運営を活性化させる。
・新たな有識者の参画を生かし、組織を支える人材の多様化を促進する。
- ② 『後援会』の発足を機に、支援団体との連携強化を計る。
・運動を支える「支援者」の活動を活発にする環境を整える。
- ③ 開局40周年への取り組みを進める。
・40周年を機に、多年齢向けの啓発的な小冊子を発行する。
・可能な範囲で、冠事業を推進する。

2025年度 事業計画

1 事業の目標

特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話の安定した活動を維持するために(1)財政基盤の確保(2)電話相談員の養成・研修(3)事業推進のための普及・啓発事業の強化に努める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

電話相談事業 (2025年4月～2026年3月)

通常電話相談(毎日 10:00～21:00)

24 時間電話相談(毎月第 3 金、土曜日 24 時間)

自殺予防いのちの電話(毎月 10 日 8:00～翌 8:00)

自殺予防いのちの電話 毎日フリーダイヤル 毎日 16 時～21 時

いのちの電話の普及・啓発事業

広報紙 8,000 部発行 40 周年記念冊子 2025 年 4 月、8 月、12 月
 事業報告冊子等 2025 年 7 月
 「自殺予防いのちの電話」公開講座 検討中
 支援ボランティアの養成 実施予定
 電話相談員の養成事業
 相談員養成（講義・体験学習等）（2025 年 4 月～2026 年 7 月）
 相談員継続研修（毎月）
 ワークショップ（2 回／年）
 スーパービジョン（1 回／年）
 危機介入研修（1～2 回／年）
 社会教育推進事業 公開講演会 検討中
 他の団体とのネットワーク構築事業
 各市町村へのゲートキーパー研修 未定
 自殺対策委員会への参加

(2) その他目的を達成するために必要な事業 検討中

2025 年度予算

【収入の部】

勘定科目	予算
会費	1,100,000
寄付金	8,400,000
助成金	1,500,000
事業収入	600,000
雑収入	3,341,000
収入小計	14,941,000

【支出の部】

勘定科目	予算
事業費	10,410,000
管理費	4,531,000
予備費	0
支出小計	14,941,000

役員・顧問・組織図

2025年7月1日現在

役員・顧問

【理事】(17名)

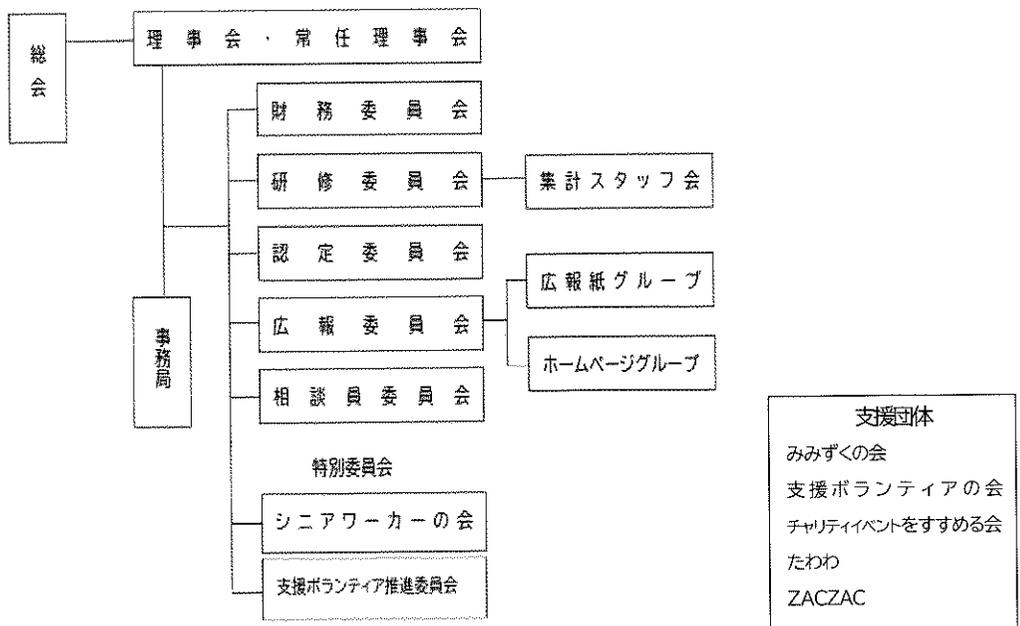
和泉貴史	伊藤典子	稲富正治	遠藤洋平	小野実	鉅鹿健吉
大町恵子	小原彰子	今野志保子(副)	菅谷明子(副)	妹尾和子	鶴清忠(正)
中嶋献児(副)	西脇正之	橋口英二郎	福島 眞澄	丸山貴史	

【監事】(2名) 石川紀子 大仲強

【顧問】(敬称略)

星野 太郎 (公益財団法人東京YMCA代表理事)		
野々山 哲郎 (弁護士)		
松本 俊彦 (精神科医)		
臼井 伸介 (昭島市長)	中嶋 博幸 (あきる野市長)	高橋 勝浩 (稲城市長)
大勢待 利明 (青梅市長)	師岡 伸公 (奥多摩町長)	澁谷 桂司 (清瀬市長)
濱崎 真也 (国立市長)	白井 亨 (小金井市長)	井澤 邦夫 (国分寺市長)
小林 洋子 (小平市長)	松原 俊雄 (狛江市長)	阿部 裕行 (多摩市長)
長友 貴樹 (調布市長)	池澤 隆史 (西東京市長)	初宿 和夫 (八王子市長)
橋本 弘山 (羽村市長)	渡部 尚 (東村山市長)	和地 仁美 (東大和市長)
古賀 壮志 (日野市長)	吉本 昂二 (檜原村長)	田村 みさ子 (日の出町長)
高野 律雄 (府中市長)	加藤 育男 (福生市長)	石阪 文一 (町田市長)
河村 孝 (三鷹市長)	小美濃 安弘 (武蔵野市長)	山崎 泰大 (武蔵村山市長)

組織図



ご寄付感謝報告(2024.4.1~2025.3.31)

賛助会・寄付金等にご支援をいただき、ありがとうございました。

【個人】

相知裕子	大橋雅子	小林由巳	高木敦子	橋口英二郎	村野雅義
相原礼子	岡崎京子	小宮山敏子	高橋厚子	橋場あゆみ	村守黎子
青木一穂	尾川公子	小室慶子	高橋慶子	橋本幸一	目黒廣子
浅井房代	小川ひろみ	小山君枝	高橋省	橋本晃一	本宮美貴子
安藤宮子	荻野洋子	近藤美樹	高橋千秋	橋本初江	森田多美子
安藤裕子	小栗勝子	齋藤千寿枝	高村真	橋本芳子	森が蘭
安齋瑠美	小沢徳子	齋藤尚子	瀧口淳子	橋渡志保子	森美知子
飯島奉子	小澤禮子	酒井知子	竹田正美	長谷部咲子	矢ノ崎明子
五十嵐明子	織戸康次	坂本厚子	武田美智子	花野知子	柳沢のり子
五十嵐秀子	尾上文江	坂田玲子	武智京子	馬場弘	藪田久子
射落薫	長内久美子	崎山貴代	竹之下和子	濱野喜美江	山本英司
池田サチ江	落合文雄	佐々木国夫	多田理子	早借洋一	山口薫
伊佐節子	小原武夫	佐々木文子	田中あい子	針尾節子	山口直樹
井坂トキ	加賀野井秀一	佐藤愛子	田中佳子	半田雅子	山崎美也子
去来川信子	加賀野井良子	佐藤永子	田辺俊美	ひくちしょういち	山田一能
石川一郎	粕谷雅子	佐藤智子	玉川公子	彦坂幸子	山田道子
石川紀子	角谷久仁子	佐藤文孝	辰巳洋子	平尾一彦	山徳幸子
石河正樹	加藤泰子	佐藤裕子	塚元実穂子	比留間悦子	山宮千恵
石川義博	加藤佑子	佐野慎子	津川博子	広瀬洋子	山宮庸司
石栗秀美	門垣芳之	佐野美保子	対馬眞堵美	深見昌且	八田部節子
石田鈴美	門目省吾	皿田宏	土屋衣美	伏見弓子	山本修
磯部明子	金田惠津子	猿谷敦子	鶴清忠	古館敏代	横山初子
市江正人	神谷多恵子	塩谷楊生	鶴田美紀	福地和子	吉岡陽子
井手洵	川上亜子	重村朋子	豊治明音	福永徑子	吉田きみ子
井出典子	川木雅樹	清水恵美子	冨塚康子	藤本祐子	吉田由美子
伊藤典子	菊井正彦	清水敏久	永井敬子	藤本義明	吉原伊津子
伊藤博子	菊野春己	清水康雄	中川享子	麓元子	吉村俊介
伊藤陽子	岸野和夫	清水容	中川満	古田信子	吉村美代子
伊藤嘉章	北原有機夫	柴田平三郎	中嶋献児	古畑美代子	米山秋恵
稲葉乃婦子	北見里花	島津京子	中田美恵子	星野恵美	和仁恵
井上恵子	木村悦子	下村羽妙	中野克子	細江譲夫	
井上啓子	清野富子	庄子隆之	中野龍夫	細川敦子	
今城則子	桐田淳子	白川真弓	中根伸二	細田満理	
岩井通子	楠久美子	白崎けい子	中村従子	前田知恵子	
殖栗信夫	國井裕子	須賀佐和子・友子	中村千恵子	益子豊・貞子	
打木杜季	久保洋子	杉村喜久子	中山淳子	増田好宏	
内田さよ子	久保田たか子	杉村祐貴子	中山玲子	増田祐子	
内田隆	久山道子	杉本早美	南雲千恵	松沢はるみ	
打田畑子	栗木俊廣	鈴木千雪	七星妙	松平一美	
上野桂子	栗林美保	鈴木豊子	並木信一	松平信人	
内山紀枝子	小金井美樹子	鈴木奈加子	並木博・泰子	松村厚子	
江島廣子	小池香る子	鈴木洋子	成田順子	丸毛美子	
江波戸秀夫	甲野美香	須山弘子	南北逸子	丸山貴史	
遠藤里香	小勝佐知子	関口柳津子	新国基子	三木キヌ子	
笈川光郎	小栗勝子	関戸克子	新見節子	箕輪育子	
大川博之	児玉幸子	関弘子	西岡房子	宮下敬子	
大口志帆	小林京子	関根理恵子	西川陽子	宮本朋子	
太田由美子	小林幸子	多賀努	野澤敬子	向井叔	
大野るみ子	小林裕子	高井住和	野澤まり子	村田藤江	

匿名 82 名

【団体】

朝日生命「朝日の月」(日本ののちの電話連盟経由)	日本基督教団阿佐ヶ谷教会
医療法人財団緑雲会多摩病院	日本基督教団国立教会
医療法人社団上石神井サン・クリニック(小西正樹)	日本キリスト教団国分寺教会
エコール健犬	日本基督教団狛江教会
孔明商事株式会社	日本基督教団高幡教会
榎本クリニック(榎本稔)	日本基督教団八王子教会
火曜グループ	日本キリスト教団東久留米教会
月曜グループ	日本基督教団四谷新生教会
カトリック調布教会	日本聖公会東京教区
カンパーランド長老教会国立のぞみ教会	日本ホーリネス教団下山口キリスト教会
国際ソロプチミスト青梅(佐久間砂由利)	日本聾話学校
桜が丘神経内科クリニック(大谷輝信)	認定委員会
支援ボランティアの会手作りの会	(株)八洋
社会福祉法人グリーンウッド	ひなぎく幼稚園
宗教法人日本聖公会東京地区東京聖三一教会	ボランティアグループふらっと
全体会(2024)	町田福音キリスト教会
多磨教会	みこしばクリニック(御子柴明子)
多摩友の会	三崎町教会みさき基金(鈴木孝美)
多摩永山キリスト教会	みみずくの会
東京多摩いのちの電話後援活動の会	(有)マロコ
東京多摩いのちの電話チャリティイベントをすすめる会	木曜グループ
東京YMCA	
東迅会にしの木クリニック	匿名団体 1件

【助成金支援団体】

赤い羽根共同募金	イオンイエローシートキャンペーン
----------	------------------

*お名前には十分注意しておりますが、間違いや漏れがありましたらお知らせください。

*匿名掲載をご希望の方は事務局までお知らせください。

あなたのご支援を東京多摩いのちの電話の活動に

東京多摩いのちの電話は、個人や団体、企業のご支援によって支えられ活動しています。あなたのご協力を得て、心疲れた人々の心を聴き共に歩む、そんな活動を今後も続けていきたいと願っています。ご支援をよろしく願います。

A. 東京多摩いのちの電話の賛助会員になってください。

①個人会員 年額 一口 3,000円 5,000円 10,000円 50,000円

②法人・団体会員 年額 一口 30,000円 50,000円 100,000円 500,000円

B. 寄付金にご協力ください。金額は自由です。

(振込先)

郵便振替: 00100-7-168778

銀行振込: 多摩信用金庫 国分寺南口支店(普)0259691

: 三菱UFJ銀行 国分寺駅前支店(普)1047392

口座名義: 特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話

発行日 2025年7月1日
発行人 理事長 鶴 清忠
特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話
〒185-0012 東京都国分寺本町郵便局留
事務局 TEL 042(328)4441 FAX 042(328)4440
<https://www.tamainochi.com>

特定非営利活動法人**東京多摩いのちの電話**



相談電話 042 (327) 4343

相談時間 10:00~21:00 (年中無休)

毎月第3金・土曜日 24時間